

## 令和7年度第1回理事・評議員会議事録

日時 令和7年11月20日(木) 18:00～

場所 アストプラザ アスト津 4F 橋北公民館 研修室A

議長 口分田 政夫 理事長

書記 曾根 翠 庶務幹事

出席者：相田文彦、赤坂紀幸、秋山英泰、天江新太郎、井合瑞江、石井光子、石山正紀、市原かつ江、伊藤昌弘、今井祐之、岩島千鶴子、江添隆範、榎勢道彦、遠藤雄策、大津真優、落合三枝子、河崎洋子、木下裕俊、栗原まな、黒川洋明、古賀聖子、佐々木征行、椎原弘章、須貝研司、鈴木郁子、竹本 潔、田沼直之、徳永修、徳光亜矢、直井寿徳、永江彰子、中川栄二、夏目 淳、根津敦夫、濱口 弘、平野大輔、福田雅文、藤田之彦、船戸正久、益山龍雄、松葉佐正、眞鍋裕紀子、丸箸圭子、村田博昭、山本重則、吉田昌佐美、若本裕之、渡辺美緒

### 議 題

#### 1. 報告事項

1) 会務報告：令和6年度理事長会務が詳細に報告されたが、主なものは以下の通り。

- ① ウェブサイトリニューアルのため、ロゴマークを作成する必要が出たため、理事会で作成した。
- ② 日本小児神経学会、日本小児在宅医学会などの関連学会から数件依頼があり、すべて受諾した。
- ③ 学会誌掲載論文内容の転載許可を求める依頼が数件あり、国外 NPO 法人からの転載依頼や英文書籍への転載依頼もあった。理事会にかけつつすべて受諾した。公益性の高い案件は無料で転載を許可した。
- ④ コネクタ問題検討 WG が作成してウェブサイトに掲載した、新規格・旧規格製品の賢い使い分けマニュアルの転載許諾申請が複数あり、すべて受諾した。

2) 令和6年度事業報告

- ① 第49回学術集会開催報告：会長講演1題、基調講演2題、特別講演1題教育講演5題、シンポジウム5題、パネルディスカッション1題を企画し、当事者の方々参加のプログラム3題は一般公開とした。一般演題は279題の発表があり、招待者を含めて1500名以上の参加をいただいた。学術集会終了後のアンケートでも342名中319名(93%)の回答者の方々から「非常によかった」「よかった」の感想をいただいた。費用は約2782万円と高額になったが、中内財団・優美財団等からの寄付や企業共催金のおかげで赤字を出さずに済ませられた。
- ② 委員会・部会報告(議事録は会員専用サイトを御参照ください)
  - i. 将来検討委員会・学会体制整備検討部会・医療・福祉制度検討委員会：活動なし
  - ii. 歴史・用語・理念・倫理部会：部会開催し、令和7年以降に海外論文でも通用するよう、用語集を改定する方針となった。
  - iii. 社会活動委員会：医療的ケア児・者支援検討部会は部長の体調不良のため活動できていない。新規コネクタプロジェクトWGは「新規格・旧規格製品の賢い使い分け方マニュアル」を作成し、学会Webサイトに公開した。
  - iv. 看護専門研修委員会：部会を開催し、日本重症心身障害福祉協会の看護専門研修制度を学会でも共有し、活用していく方向性を確認した。また、今後看護基準について検討していくことで、将来の重症心身障害児診療看護マニュアルの改訂につながる議論を積み重ねたい。

- v. リハビリテーション委員会：2ヶ月に1回委員会を開いて学習を深め、第49回学術集會にリハビリテーション委員会主催のシンポジウムを開催した。第50回でも開催予定。
- vi. 倫理委員会：【研究倫理】編集委員長と協議しつつ、本学会の研究倫理指針を策定し、令和8年度理事・評議員会に上梓する方針となった。【生命倫理】歴史・用語・理念・倫理部会長と相談しつつ指針を策定し、令和8年度理事・評議員会に上梓する方針となった。
- vii. 基準・手順・治療指針・マニュアル検討委員会：重症心身障害児・者てんかん治療指針作成部会は、12施設でてんかん発作の実態を調査し、強直間代発作と意識減損発作が多いことが判明した。治療指針を策定し、指針に基づいて治療を開始している。令和8年の学術集會で結果報告を行うことを目途としている。痙縮治療部会は活動できていないが、痙縮だけではなく整形外科の治療も合わせて扱う必要があると考え、部会員を選出しなければならないと考えている。呼吸器・感染症WGは、第50回学術集會で講演とシンポジウムを企画している。
- viii. 日中活動・療育・ICT委員会：重症心身障害児・者の日中活動に関わる課題として、入所利用者の加齢や重症化に対応する活動内容に関わる課題と、日中活動提供者に関わる課題の二つがあると考え、令和7-8年に実態調査を行い、将来的にはガイドラインを策定するよう活動したい。
- ix. 編集委員会：学会誌 Vol. 49 No. 1, No. 2, No. 3 を発行した。今後も評議員には査読を依頼する予定。編集員の募集をしている。
- x. Web・広報委員会：6月12日にWebサイトをリニューアルした。公開ページは従来の光生を引き継ぎつつ、委員会・部会のページを追加した。会員専用ページを新たに追加し、会員のみ閲覧できる新着情報と委員会・部会員名簿を掲載している。なお、Webサイト運営会社変更に伴い、新着情報や役員一覧の更新は委員が交代で実施することになっている。

### ③ その他

- ・会員管理システム「学会バンク」を令和6年4月1日から本格稼働した。事務局員の負担は、稼働開始直後は増加したが、約4ヶ月後から軽減し始めた。

- ・有馬正高名誉理事長追悼サイト（有馬正高，（1929 - 2022） - 想いでサイト）を、令和6年4月に期限なく維持する形に契約を変更し、訪問者の制限をなくした。

### 3) 会員動向及び役員人事

① 会員動向（資料1）：令和6年度末の会員数は個人会員2256名、団体会員54団体で、総数2310、前年度末より166増加した。なお、令和6年度末の個人会員の内、医師は886名、歯科医師は34名、それ以外は1336名であった。

② 退任役員：高橋良枝評議員と直井久徳評議員が、本人からの依頼により退任となった。

4) 松葉佐理事より：旧重症心身障害児施設入所利用者の年齢構成は年を追うごとに高齢化し、地域で生活し続ける重症心身障害児・者も増加している。2017年にスコットランド政府が発信した”Health and Social Care Standards - My support, My life”は先進的な基準である。本学会でも、適切な委員会・部会で重症心身障害児・者の未来に向けて目指す指針を見直すと報告された。

### 5) その他

① 曾根翠理事が、「リハビリテーション委員会と協力して、非言語コミュニケーション評価法としてイギリスで標準化され使用されている”root for learning”の日本語版発行をめざし活動

していく」と報告した。

## 2. 協議事項

1) 令和6年度収支決算報告及び監査報告(資料2): 収入では、会費収入が予算より少なかった。端数は学会バンクから事務局へのオンライン決済会費振込手数料(262円/月)が減額されたことが理由である。会費収入以外は予算より増加し、寄付金(木実谷第47回学術集会会長と杉洋子様から)もいただいたが、予算より約39万円少ない収入となった。支出では、会誌の印刷・製本・発送費とJ-stage掲載経費が予算を大幅に超過した。その他の支出は予算より減少し、学術集会運営予備金も使わなかったので予算より約31万円少ない結果になった。単年度収支差し引きでは、予算段階では約55万円赤字となる予定であったが、約66万円赤字となり、予算以上に繰越金を減らす結果になった。なお、委員会返金は、令和5年度に編集委員会と新規コネクタWGに前渡金として渡していたものの余剰金を一旦返していただいたもの、雑収入はバックナンバーの送料である。学術集会支援準備金の支出が無かったにも拘わらず、単年度収支は約69万円の赤字になった。(承認)

2) 令和7年度事業計画(案): 令和7年度の実業計画は、第50回学術集会の開催、会誌の発行(vol. 50 No. 1, No. 2, No. 3)、総会・諸会議の開催に加えて、50周年記念事業として、学術集会で特別講演とシンポジウム実施・学会ウェブサイト内記念ページ作成公開・歴史的記録のアーカイブ保存を実施する。(承認)

### 3) 令和7年度予算案と年会費見直しについて

① 令和7年度予算案(資料3): 収入は令和6年度の決算と同等の収入を見込んだ。支出では、ホームページ運用経費は50周年記念ページ開設費を組み込んだため令和6年度より増加した。学会誌印刷・製本・発送費は紙の厚さを薄くして発送費抑制を図った。会員管理費も前年度の半分とした。しかし、単年度の収支では1,624,500円赤字となり、学術集会準備予備金を使わなくても約12万円の赤字予算となった。(承認)

② 今後の収支見通しと年会費改正案(資料4): 令和8年度以降もウェブサイトをより良いものに変更する費用がかかり、学会誌の印刷・製本・発送費用もさらに高騰する可能性があるため、赤字になることが予想される。また、令和6年度年会費改正時に掲げた目標の一つである事務局強化は達成できないと思われる。以上より令和8年度から、医師・歯科医師の年会費を10,000円に増額したいと提案した。(承認) なお、評議員から「学会誌不要の会員に送らないことで送料減額を図ってはどうか」という意見が出、今後検討することとなった。

### 3) 新任役員

① 評議員: 理事会から8名(石原あゆみ氏、垂髪あかり氏、岸本光夫氏、久保田雅也氏、郷間英世氏、田村和宏氏、丸山幸一氏、虫明千恵子氏)が新評議員として承認された。評議員から、新評議員推薦期間を評議員全員に周知してほしいと要望があり、今後検討することとなった。

② 理事長が江添隆範評議員を庶務担当理事に指名し、同氏が受諾した。これに伴い曾根翠理事兼庶務幹事は理事となるが、庶務担当理事とともに業務にあたる。

4) 名誉会員: 熊谷公明元評議員(第23回学術集会会長)が名誉会員に推薦され承認された。

5) メディカルオンラインへの学会誌掲載は、j-stage掲載と同じ発刊2年後からとされていたが、前者の閲覧は有料で後者は無料である。このことから前者は条件付き公開であるので発刊1年後から掲載としたいと、理事長から提案され承認された。

6) 現在事務局員は1名で、週20時間程度勤務している。しかし、業務量が多く、サービス残業をせざるを得ない場合が少なくない。本人は週30時間程度勤務可能と言っているため、令和8年度からは週30時間程度勤務ができるよう予算を組みたいと、理事長が提案し、承認された。

- 7) 第51回(令和8年度)学術集会：若本裕之副会長より、「令和8年10月17日(土)～18日(日)に松山市総合コミュニティセンターで、『共感と包摂』をテーマに開催する。演題募集時期が4月になるので注意してほしい。」と発表された。
- 8) 第52回(令和9年度)学術集会：天江新太郎評議員より、「令和9年11月5日(金)～6日(土)に仙台国際センターで開催する。」と発表された。
- 9) 第53回(令和10年度)学術集会：理事会が曾根翠理事(東京都)を会長に推薦し、承認された。
- 10) その他

### 3. その他

次回開催日：令和8年度第1回理事・評議員会 令和8年10月18日(木)、愛媛県松山市

#### 資料1 日本重症心身障害学会 令和6年度 会員動向

	個人会員	団体会員	合計
令和5年度会員数	2092	52	2144
令和6年度入会	466	3	469
6年度退会	-302	-1	-303
<b>令和6年度会員数</b>	<b>2256</b>	<b>54</b>	<b>2310</b>
前年比	164	2	166

(令和7.3.31現在)

## 資料 2

令和 6 年度収支決算報告  
(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

## 収入の部

費目	令和6年度予算	令和6年度決算	差異(予算一決算)
前年度繰越金	6,910,551	6,910,551	0
会 費	16,000,000	15,178,202	821,798
会誌売上代	20,000	105,700	△ 85,700
掲載原稿頁超過料	300,000	550,000	△ 250,000
学術著作権使用料	150,000	110,157	39,843
抄録使用料	20,000	21,120	△ 1,120
別刷作成料	60,000	0	60,000
寄附金	0	54,216	△ 54,216
委員会返金(新規コネクタWG・編集委員会)	0	83,270	△ 83,270
雑収入	0	520	△ 520
利息	100	4,279	△ 4,179
総計	23,460,651	23,072,231	388,420

## 支出の部

費目	令和 6 年度予算	令和 6 年度決算	差異(予算一決算)
会誌(印刷・製本・発送)	9,500,000	11,133,289	△ 1,633,289
J-stage 掲載経費	700,000	949,850	△ 249,850
英文抄録作成経費	30,000	5,108	24,892
学術集会運営補助金(予算・開催前年)	1,800,000	1,800,000	0
役員会費	190,000	173,199	16,801
委員会費	120,000	27,928	92,072
ホームページ運用経費	750,000	741,400	8,600
会員管理費	11,000	1,100	9,900
事務局人件費	2,000,000	1,784,548	215,452
通信・運搬・交通費(学術集会旅費含む)	400,000	126,000	274,000
事務用品・消耗品費	50,000	38,685	11,315
雑費(振込手数料など)	50,000	9,295	40,705
学術集会運営予備金	1,500,000	0	1,500,000
総計	17,101,000	16,790,402	310,598

## 収支決算

	令和6年度予算	令和6年度決算	差異(予算一決算)
前年度繰越金	6,910,551	6,910,551	0
単年度収入合計	16,550,100	16,107,464	442,636
単年度支出合計	17,101,000	16,790,402	310,598
単年度収支差し引き	△ 550,900	△ 682,938	132,038
次年度繰越金	6,359,651	6,227,613	

## 資料 3

## 令和 7 年度予算案

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

## 収入の部

費目	令和6年度予算	令和6年度決算	令和 7 年度予算案
前年度繰越金	6,910,551	6,227,613	6,227,613
会 費	16,000,000	15,178,202	16,000,000
会誌売上代	20,000	105,700	100,000
掲載原稿頁超過料	300,000	550,000	550,000
学術著作権使用料	150,000	110,157	110,000
抄録使用料	20,000	21,120	22,000
別冊作成事務局分	60,000	0	0
寄附金	0	54,216	0
委員会・部会返金	0	83,270	0
雑収入	0	520	0
利息	100	4,279	4,000
総計	23,460,651	22,335,077	23,013,613

## 支出の部

費目	令和 6 年度予算	令和 6 年度決算	令和 7 年度予算案
会誌(印刷・製本・発送)	9,500,000	11,133,289	11,000,000
J-stage 掲載経費	700,000	949,850	950,000
英文抄録作成経費	30,000	5,108	5,000
学術集会運営補助金(予算・開催前年)	1,800,000	1,800,000	1,800,000
役員会費	190,000	149,824	150,000
委員会費	120,000	27,928	80,000
ホームページ運用経費	750,000	741,400	920,000
会員管理費	11,000	1,100	5,500
事務局人件費	2,000,000	1,784,548	1,800,000
通信・運搬・交通費	400,000	149,375	150,000
事務用品・消耗品費	50,000	38,685	30,000
雑費	50,000	9,295	20,000
学術集会運営予備金	1,500,000	0	1,500,000
総計	17,101,000	16,790,402	18,410,500

## 収支差引

	令和6年度予算	令和6年度決算	令和 7 年度予算案
前年度繰越金	6,910,551	6,227,613	6,227,613
単年度収入合計	16,550,100	16,107,464	16,786,000
単年度支出合計	17,101,000	16,790,402	18,410,500
単年度収支差し引き	△ 550,900	△ 682,938	△ 1,624,500
次年度繰越金	6,359,651	5,544,675	4,603,113

## 資料 4

## 令和 8 年度年会費を改正した場合の収支見込

## 収入の部

費目	令和 7 年度予算	“令和 8 年度見込
前年度繰越金	6,227,613	6,227,613
<b>会 費(医師・歯科医師以外)</b>	<b>8,800,000</b>	<b>10,688,000</b>
<b>会 費(医師・歯科医師)</b>	<b>7,200,000</b>	<b>9,200,000</b>
会誌売上代	100,000	100,000
掲載原稿頁超過料	550,000	550,000
学術著作権使用料	110,000	110,000
抄録使用料	22,000	22,000
別冊作成事務局分	0	0
寄附金	0	0
雑収入	0	0
利息	4,000	4,000
<b>総計</b>	<b>23,013,613</b>	<b>26,901,613</b>

8000 円 × 1336 名

10000 円 × 920 名

## 支出の部

費目	令和 7 年度予算	“令和 8 年度見込
会誌(印刷・製本・発送)	11,000,000	12,000,000
J-stage 掲載経費	950,000	950,000
英文抄録作成経費	5,000	5,000
学術集会運営補助金(予算・開催前年)	1,800,000	1,800,000
役員会費	150,000	150,000
委員会費	80,000	80,000
<b>ホームページ運用経費</b>	<b>920,000</b>	<b>810,000</b>
会員管理費	5,500	5,500
<b>事務局人件費</b>	<b>1,800,000</b>	<b>2,300,000</b>
通信・運搬・交通費(学術集会旅費含む)	150,000	150,000
事務用品・消耗品費	30,000	30,000
雑費(振込手数料など)	20,000	20,000
学術集会運営予備金	1,500,000	1,500,000
<b>総計</b>	<b>18,410,500</b>	<b>19,800,500</b>

週 30 時間勤務を想定

## 収支差引見込

	令和 7 年度予算	“令和 8 年度見込
<b>単年度収入合計</b>	<b>16,786,000</b>	<b>20,674,000</b>
<b>単年度支出合計</b>	<b>18,410,500</b>	<b>19,800,500</b>
<b>単年度収支差し引き</b>	<b>△ 1,624,500</b>	<b>873,500</b>